



新型コロナウイルス感染症予防対策として中止していた白ゆり幼稚園冬の恒例行事「ちびっ子相撲大会」が3年ぶりに開催されました。およそ一ヶ月にわたり、それぞれのクラスでトーナメント戦・勝ち抜き戦を行いその中から勝ち上がった各クラス代表4名のお友達が決勝大会で熱い戦いを繰り広げました。

笑いあり！ 悔し涙あり！ 感動あり！ 代表になったお友達だけがスポットライトを浴びているように思われがちですが… 決してそうではありません！

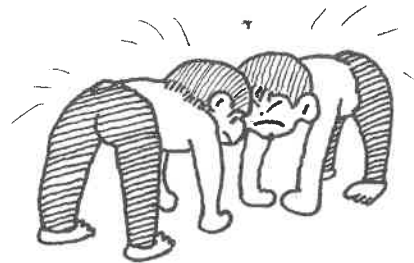
確かに最初から全ての子供が意欲的に取り組んでいたわけではありません。勝敗にこだわらない子もいればすぐに諦めてしまう子も… そんな子供達も回を重ねるうちに悔しさが芽生え、意地が芽生え、代表になりたいという意欲が芽生え、夢中になって全力で取り組む姿が見られるようになりました。

そんな経験の積み重ねから友達との共感が生まれました。代表の友達の勝敗を自分のことのように喜び、悔しがり、全力で応援する姿に、一人一人の「心の力、の育ちを感じます。

子供は頑張ることが大好きです！ 夢中になれることに全力で取り組みます！ 白ゆりっ子は、夢中になれる遊びの中からしっかりと「心の力、を育てています（笑）」

★最後の課題「跳び箱」★

「やれば出来る！」を実体験してきた年長児…
白ゆり幼稚園での最後の課題に挑戦です。
5段、6段、7段、8段に挑戦します。
もちろん簡単には出来ません。4月からの基礎的な導入の上に、さらにコツコツと小さな頑張りがが必要です。



◆「園長先生 お願いします！」◆

3月に入り、園長のところをお願いに来る年少・中の子供が増えてきました。「ピンクのバッチが欲しいです！」「紫のバッチが欲しいです！」
4月からの新しいクラスに興味津々…（笑）
進級に向けて、期待に胸を膨らませる子供達です。

（心の育ちシリーズ） 「できた!!」のよろこびを

年長児たち、幼稚園でおとさたちと楽しくあそべるのはあと7日です。86名の年長児たちの巣立ちを迎えるにあたり、これ迄の育ちをふり返ると熱いものが込み上げて来ます。私は51回目の経験です。

教えて育てると書いて教育ですね。ひとが持つていない能力を教えあげることとされています。これが教育の持つ役割なのです。

子どもたちは、幼稚園と言う学校で3年間と4年間に亘って幼児教育を経験しました。

自発的の幼児教育を経験しました。札幌市内に130を超える私立園から自発的を選んでくださったご家庭に感謝の気持ちでいっぱいですが、ご期待に添える事が出来たのか甚だ不安ではございますが、スタッフ一同 子どもたちと一緒にがんばりました。

自発的の幼児教育は「教える」よりも子どもが生まれつき持つている潜在能力を「引き出してあげる」事を主眼にしております。

子ども自身を「教えられた」よりも「できた!!」の体験を幾度も経験してきました。

小さな努力の積み重ねの大切さを知りました。「やる気!」の大切さを知りました。悔しさも悲しさも苦しさを沢山経験しました。自分が苦労したからおとさたちの苦労に応援する心も身に付けました。豊かな心を持って巣立ちます♡

